

# 地震発生 そのときどうする

## あわてず 落ち着いて



緊急地震速報がテレビで放送される

### ■落ち着いて、自分の身を守る

- ・頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
- ・あわてて外に飛び出さない

### 【余裕があれば】

- 火の始末はすばやく
  - ・揺れが激しいときは無理しない、やけどに注意
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保

### 【揺れが納まったら】

- 火元を確認
- **家族の安全を確認**
- 靴をはく
  - ・ガラスの破片などから足を守る
- 非常持ち出し品を準備する

### ■ 隣近所の安否を確認

(声を掛け合う)

- ・1人暮らしの高齢者など災害時要援護者がいる世帯には特に積極的に声を掛ける。

ラジオなどで情報を確認

家を出る前に出火防止策

- ・ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る

### ■ 集合場所に行く

### ■ 町内会内の安否を確認

- ・町内会全体の安否情報を集約する
- 初期消火、救出活動
  - ・みんなで協力して消火や救助、あわせて消防署などへ通報
- 町内会の人たちと**集団で避難所へ**
  - ・町内会（自主防災組織）を中心に行動する



わが家（タウン24町内会）の避難場所

### 集合場所は

**ありんこ児童公園**（いつも夏祭りを開催している広場）です  
(ここで地域の安否確認を行います)

### 避難所は

地震・洪水時とも**つつじが丘小学校**です  
(みなさんと一緒に避難します)

# 日ごろの備え

## 家の中の安全対策

- ◇ **家具のない安全な場所を確保する**  
～地震発生時に逃げ込めるように～
- ◇ **出入り口や通路にはものを置かない**  
～安全に避難するために～
- ◇ **災害時要援護者のいる部屋には倒れそうな家具を置かない**  
～災害時要援護者を守るため～
- ◇ **非常持出品は取り出しやすい場所に**  
～避難するときすぐ持ち出せるように～
- ◇ **家具の転倒・落下の防止策をとる**  
～家具によるけがをしないために～

## 家具の転倒・落下防止策

- ◇ **収納を工夫する**  
～重いものは下に、軽いものは上に～
- ◇ **置き方を工夫する**  
～就寝場所に倒れてこないように配置～  
～家具の下部前方に板を入れ壁にもたれ気味におく～
- ◇ **耐震金具を利用する**  
～壁・柱と家具を固定する転倒防止金具～  
～上下の家具を固定する重ね留め用金具～  
～扉・引き出しの開放防止金具～

## 非常持ち出し品を準備しておこう

### 非常持出品

- ◆ 懐中電灯（1人にひとつ用意、電池も）
- ◆ 携帯ラジオ（AMとFMの両方聞けるもの）
- ◆ 非常食・水（火を通さず食べられるもの）
- ◆ 貴重品（現金、通帳、印鑑、保険証）
- ◆ 救急医薬品（キズ薬、絆創膏、常備薬）
- ◆ その他（タオル、軍手、缶きり、ナイフ）

### 火災発生時に最初に持ち出すもの

### 備蓄のコツ

- ◆ 食糧・水の備蓄は、**毎日の生活の中でクセをつけること**
- ◆ 食糧は、日持ちのする物で、**食べたらずぐに補充をするクセ**
- ◆ 水は、**汲み置いたものを使用し、使ったらずぐに補充するクセ**

### 非常備蓄品

- ◆ 食品（缶詰、レトルト食品、）
- ◆ 卓上コンロ、ガスボンベ
- ◆ 毛布、寝袋、洗面用具、ラップ
- ◆ 使い捨てカイロ

### 災害から数日間を支えるもの



## 飲料水の確保

**第二中学校及び緑園中学校グランド**には、災害時の飲料水を確保するため**緊急貯水槽**を設置しています。

これは、**容量100トン**で約1万1千人の**3日分**となります。

管工事協同組合が**ポンプの設置**などをします。

## 災害用備蓄倉庫

**つつじが丘小学校**には、**災害用備蓄品**の倉庫を設置しています。

消火器、ハンマー、担架、リアカー、毛布、トイレ、アルファ米などを備蓄しています。

### カギの保管場所

- ・町内会長が保管しています。
- ・つつじが丘小学校（37-8222）
- ・市役所総務課（65-4103）